

「電卓」シラバス

県立真和志高等学校

校長印		教頭印		教頭印	
-----	--	-----	--	-----	--

教科	科目	学年	単位数	必・選の別
商業	電卓	2・3	2	選択（学校設定科目）

補助教材	珠算・電卓 実務検定演習（実教出版）
------	--------------------

科目の目標

1. 電卓に関心を持ち、積極的に電卓の学習に取り組むことができる。
2. キーボードの操作は、正確さ、迅速さ、姿勢とタッチのスマートさを求める。
3. 電卓による四則計算と電卓の機能を使って計算ができる。
4. 電卓により基礎的な商業計算ができる。
5. 便利な機器を利用することによる時間的余裕がもてる。

目標とする検定・資格等

全商珠算・電卓実務検定 (6月) (11月) 3級・2級

授業の進め方

1. 問題集やプリントを中心に学習します。
2. 電卓の細かいキー操作を使いこなせるように学習します。
3. 電卓は学校指定の電卓を使用する。
4. 機器の利用に際しては環境、周りに対して十分に注意を払う。

評価の観点と方法

評価の観点	内容	評価方法
関心・意欲・態度	ビジネス活動に必要である基礎的・応用的計算を電卓に用いて計算し、自ら学び続ける態度を身につけているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習活動への取り組み ● 課題、模擬試験問題集等の提出
思考・判断	学習で得た知識と技術を活用して売買取引を適切に判断し、電卓の機能を迅速かつ正確な計算能力を目指して自らの思考を深めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業時の課題、模擬試験問題集を学習時に評価
技能・表現	電卓の技術を習得し、スマートな運指法を駆使しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業時の課題、模擬試験問題集を学習時に評価
知識・理解	売買や金融に関する計算の意味を理解し、適切な計算式によって値を求める知識を身につけているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期考査・検定試験

授業計画

学期	月	指 導 内 容	配 当 時 間	備 考	
前	4	第 1 章「電卓の基準」	・ 電卓の各部の名称と機能	1	
	5	第 2 章 「キータッチの練習」	1. 下段123の練習 2. 中段456の練習 3. 上段789の練習 4. 段外0の練習 5. 下段・上段の混合練習 6. 人差し指・中指258の混合練習 7. 中指258・薬指369の混合練習 8. 親指の練習・斜め方向の練習 9. 左回りの練習・右回りの練習・応用練習（ブラインドタッチを習熟させる）	10	前期中間考査
後	6				全商協主催 電卓検定受検
	7	第 3 章 「計算練習」	1. 加減算の基本と練習 2. 見取算の要領と練習 （電卓の機能の活用） 3. 乗除算の要領と練習 4. 模擬試験演習3・4級 5. 伝票算の要領と練習	24	前期期末考査
	9				
	10	第 4 章 「ビジネス計算」	1. ビジネス計算 2. 度量衡の計算 3. 外国貨幣の換算 4. 割合の計算 5. 売買・損益計算 6. メモリー計算 7. 電卓検定練習 （全商検定 2級目標）	22	後期中間考査
	11				全商協主催 電卓検定受検
	12				
	1	1 「単利の計算」	・ 日数計算、利息、元金合計を 求める計算		後期期末考査
	2	2 「手形割引の計算」 3 「仲立人の手数料計算」	・ 割引料、手取金を求める計算 ・ 売り主、買い主の手数料	13	
	3	4 「減価償却の計算」	1. 定額法による計算 2. 定率法による計算 3. 電卓総合演習（各自にあった問題）		
			計	70	